

① 打ち水大作戦

企画概要

みんなでいっせいに「打ち水」をして、真夏の気温を2℃下げよう。



「打ち水大作戦」は、江戸時代の庶民の知恵「打ち水」がヒートアイランド現象に対してどのような効果を持つのか、決められた時間にみんなでいっせいに打ち水をして、その効果を検証しよう、という壮大な社会実験¹として平成15年（2003年）よりスタートしました。

打ち水大作戦本部は、この「一斉打ち水」の呼びかけを始めとして、日本全国さらには世界で、雨水や二次利用水を活用した打ち水の生活習慣化に向けた活動を行っています。

打ち水大作戦は、誰もが手軽に楽しくできるヒートアイランド対策、さらには地球温暖化対策の取り組みとして、実際に気温を下げるのはもちろんのこと、その実施プロセスを通して、環境意識の啓発や水の再利用の促進、近隣コミュニティの再生など、様々な効果をもたらす呼び水ともなっています。毎年400万人以上が参加すると言われる、打ち水大作戦は、今だかつてないほどの広がりや深さを持った市民運動です。

事業名称：

打ち水大作戦 2014



目的：

- (1) 真夏の気温低下、ヒートアイランド対策の促進、都市における水辺の有効性の啓発
- (2) 水循環、環境問題に対する意識啓発
- (3) 近隣コミュニティの再生
- (4) 生活の中での水の再利用の促進（雨水や二次利用水を活用した打ち水の生活習慣化）
- (5) 江戸時代のエコライフ・伝統文化の見直し
- (6) 冷房の使用機会減少による省エネルギー及び温室効果ガス排出量の削減
- (7) 間伐材手桶等の普及を通じた林業振興による森林の保全（水源の涵養、二酸化炭素吸収）
- (8) 国内外の打ち水ネットワークを通じた洪水等の水関連災害被災者の支援

主催：

打ち水大作戦本部
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町5-4 アライズ第2ビル6階
TEL：03-5645-8045 FAX：03-5645-8041
URL <http://www.uchimizu.jp> E-mail uchimizu@waterforum.jp

後援申請予定：

国土交通省、環境省、東京都

助成：

公益財団法人河川財団 河川整備基金

¹ 狩野学・手計太一・木内豪・榊茂之・山田正「打ち水の効果に関する社会実験と数値計算を用いた検証」（水工学論文集、第48巻、pp.193-198、2004）によれば、東京都23区内の散水可能な面積約265k㎡に散水を行うことによって、最大で2～2.5℃程度、正午の気温が低下すると予測されています。

昨年、打ち水大作戦にご協賛いただいた団体の皆様：(五十音順)

大手町・丸の内・有楽町 打ち水プロジェクト実行委員会、オルガノ株式会社、株式会社建設技術研究所、一般社団法人建設コンサルタンツ協会、水ing株式会社、株式会社タニタハウジングウェア、株式会社東京建設コンサルタント、公益社団法人日本河川協会、公益社団法人日本下水道協会、一般社団法人日本建設業連合会、株式会社ニュージェック、株式会社長谷工コミュニティ、メタウォーター株式会社、らでいっしゅぼーや株式会社

実施期間（打ち水強化月間）：

大暑ⁱⁱ：平成 26 年（2014 年）7 月 23 日（水）～処暑ⁱⁱⁱ：8 月 23 日（土）

※一斉打ち水のデモンストレーション、効果検証、新たな企画・コンテンツ（プロモーション映像等）の制作・展開など、様々なメディアを通じて、打ち水の実施を呼びかけます。

※7 月 23 日大暑 全国一斉打ち水大作戦（予定）

実施場所：

公共施設、会社、事務所、学校、商店街、お住まい及び周辺の路地等

参加予定者：

呼びかけに応じてくれる国内外の団体・コミュニティ・個人

※全国各地の打ち水大作戦実施予定をホームページにて登録・公開予定

ルール：「水道水はご法度！」



打ち水大作戦は、雨水や一度使った水で打ち水することを最も重要な基本原則（ルール）としています。このルールを守って、打ち水大作戦に参加していただくことを通して、生活の中での水の使い方を考え直してもらおうきっかけにしたいと思います。

一度使った水の例：

風呂や銭湯の残り湯、下水再生水、プールの残り水、湧き水、川の水、エアコンの室外機の水、シャワーが温水になるまでの水、手洗いや洗顔に使った水、空き缶やペットボトルの水洗いに使った水など



打ち水で虹をつくろう。



「二次」利用水で「虹」ができないか、という遊び心から生まれた夢のある試みです。実際に虹ができた事例も報告されています。打ち水によってできた虹は、人と人を繋ぎ、持続可能な未来に架けるシンボルです。

二次利用水の打ち水でできた虹@東京スカイツリー®(霧吹きを使用)

ⁱⁱ 大暑：二十四節気のひとつ。太陽の黄経が 120 度の時で、六月の中（ちゅう）とも呼ばれる。太陽暦では 7 月 23 日頃にあたり、暑さが最も厳しいとされる。

ⁱⁱⁱ 処暑：二十四節気のひとつ。太陽の黄経が 150 度の時で、暑さが止み、新涼が間近い日とされる。七月の中（ちゅう）とも呼ばれ、太陽暦の 8 月 23 日頃に当たる。

過去の結果: 11 年間で、参加人数合計のべ 6,200 万人以上^{iv}

大江戸打ち水大作戦

日時	平成 15 年 (2003 年) 8 月 25 日 (月) 正午
場所	東京都 23 区
	推定参加者数 34 万人 第 44 回「消費者のためになった広告コンクール」 新聞広告部門 Gブロック (公共広告) 金賞

打ち水大作戦 2004

期間	平成 16 年 (2004 年) 8 月 18 日 (水)～8 月 25 日 (水)
場所	日本全国、ストックホルム (スウェーデン)
	推定参加者数 : 329 万人以上 平成 16 年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰「対策活動実践部門」 日本イベント大賞「地域イベント部門賞」受賞

打ち水大作戦 2005

期間	平成 17 年 (2005 年) 7 月 20 日 (水)～8 月 31 日 (水)
場所	日本全国、パリ (フランス)
	推定参加者数 : 770 万人以上 新語・流行語大賞ノミネート

打ち水大作戦 2006

期間	平成 18 年 (2006 年) 大暑 : 7 月 23 日 (日)～処暑 : 8 月 23 日 (水)
場所	日本全国、パリ (フランス)
	推定参加者数 : 770 万人以上

打ち水大作戦 2007

期間	平成 19 年 (2007 年) 大暑 : 7 月 23 日 (月)～処暑 : 8 月 23 日 (木)
場所	日本全国、モラトゥワ (スリランカ)
	推定参加者数 : 961 万人以上

打ち水大作戦 2008

期間	平成 20 年 (2008 年) 大暑 : 7 月 22 日 (火)～処暑 : 8 月 23 日 (土)
場所	日本全国、サラゴサ (スペイン)
	推定参加者数 : 721 万人以上

打ち水大作戦 2009

期間	平成 21 年 (2009 年) 大暑 : 7 月 23 日 (木)～処暑 : 8 月 23 日 (日)
場所	日本全国、インチョン (韓国)
	推定参加者数 : 613 万人以上

打ち水大作戦 2010

期間	平成 22 年 (2010 年) 大暑 : 7 月 23 日 (金)～処暑 : 8 月 23 日 (月)
場所	日本全国
	推定参加者数 : 795 万人以上

打ち水大作戦 2011

期間	平成 23 年 (2011 年) 大暑 : 7 月 23 日 (土)～処暑 : 8 月 23 日 (火)
場所	日本全国
	推定参加者数 : 428 万人以上

打ち水大作戦 2012

期間	平成 24 年 (2012 年) 大暑 : 7 月 22 日 (日)～処暑 : 8 月 23 日 (木)
場所	日本全国
	推定参加者数 : 393 万人以上

打ち水大作戦 2013

期間	平成 24 年 (2013 年) 大暑 : 7 月 23 日 (火)～処暑 : 8 月 23 日 (金)
場所	日本全国
	推定参加者数 : 393 万人以上

^{iv} 参加者数は、平成 15 年は、電話調査 (無作為抽出) 結果に基づく推定。平成 16 年～24 年は、インターネット調査 (専門業者によるモニター調査) 結果に基づく推定。平成 15 年～22 年は、期間中に「打ち水」をしたと回答した人の割合、平成 23 年～24 年は、期間中に「打ち水大作戦に参加した」と回答した人の割合より推定。

打ち水大作戦 2013 アンケート結果：

- Q. 打ち水大作戦をご存知でしたか？
知っていた＋何となく見聞きした気がする 68%
- Q. どこで知りましたか？（複数回答可）
テレビ 63% 新聞 12% インターネット 9% ラジオ 4%
- Q. どこで参加しましたか？（複数回答可）
家 73% お勤め先、学校など 14% イベント会場 12%
- Q. どのような効果を感じましたか？（複数回答可）
涼しく感じた 53% 風を感じた 25%
- Q. どの時間帯に打ち水をしましたか？（複数回答可）
夕方（16～19時）32% 午後（12～16時）25% 午前（9～12時）21%
- Q. 何の水で打ち水をしましたか？（複数回答可）
お風呂の残り湯 21% 古くなった汲み置きの水 10% 水洗いなどに使った水 9%
雨水 9% 下水再生水 2%
- Q. 打ち水をすることで、何か変化がありましたか？（複数回答可）
環境問題への関心が高まった 38%
街の中に川やせせらぎなどの水辺がもっとあればいいと思うようになった 27%
風呂水、室外機の水、雨水などを捨てない、貯める習慣がついた 26%
江戸文化に興味を持った 13%
冷房に頼らなくなった 11%
道路を掃除するようになった 10%
家族との会話が増えた 9%
地域のボランティア活動に興味を持った・参加するようになった 9%
ご近所の人と仲良くなった 7%
打ち水大作戦に参加した 7割の以上の人に、環境に対する意識や生活スタイルの変化が現れています。

打ち水大作戦 2013 報道状況：（本部確認分のみ）

新聞・WEB49件、テレビ・ラジオ・雑誌 17件

この他にも、毎年、メディアを通じて多数の報道がなされています。



「水のつながり」が「人をつなげる」

打ち水は、水が気化するとき周囲の熱を奪う、という性質を利用して涼を得る、江戸の生活の知恵です。気化した水は、やがて雨水となって地上に降り注ぎます。打ち水大作戦では、この雨水やそこから連なる二次利用水を打って、水を再び空に返してあげます。

打ち水大作戦は、一人のアクションから始まる、みんなのアクション。
水の壮大な繋がりを体感しながら、人と人の繋がりが広がっていきます。